

施設サービスについて②



民間で運営している施設も
たくさんあります。

◆有料老人ホーム◆

食事の提供、介護の提供、洗濯・掃除などの家事、健康管理など日常生活を送るうえで必要な「サービス」が付いた高齢者が暮らしやすいように配慮した「住まい」です。すべての有料老人ホームで入居時の条件が一定というわけではなく、年齢や健康状態などによって選べるホームが異なります。元気なうちから入居できるホームと、要介護になってから入居できるホームがあります。それぞれのホームで受けられるサービスや施設の特徴なども異なります。

介護付有料老人ホーム

介護などのサービスが付いた高齢者向けの居住施設。介護が必要となった場合でも、施設が提供する介護サービスを利用しながら、施設内での生活が可能。

○一般型特定施設入居者生活介護

施設の職員が介護サービスを提供する施設

○外部サービス利用型特定施設入居者生活介護

施設の職員が安否確認や計画作成を実施し、委託先の事業所が介護サービスを提供する施設

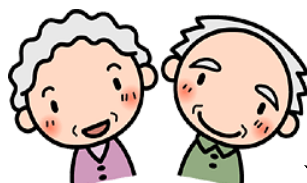
住宅型有料老人ホーム

食事などの日常生活の支援サービスが付いた高齢者向けの居住施設。介護が必要となった場合でも、地域の訪問介護など外部の介護サービスを利用しながら、施設内での生活が可能。

★あっとほーむ岡津★

当院のグループでは『あっとほーむ岡津』があります。

サービスを提供してくれる
事業所は同じ建物内か
施設の近くにいることが
多いみたいだよ。



在宅よりも
手厚い介護が
受けられそうだね。

◆高齢者住宅◆

高齢者が安全かつ快適に住めるような配慮が施され、介護が必要な場合には訪問介護などの外部の介護サービスを利用できる居住施設です。

◆バリアフリーマンション◆

通常のマンションの形態のひとつです。食事や介護サービスは付帯していませんが、年齢や身体の状態に関係なく快適に住めることを目的に、居室設備に様々な配慮が施されています。

例) 床の低段差、車椅子可能な広さの確保

◆ケアハウス◆

入居対象は**身の回りのことを自分でできる方**です。多くの有料老人ホームのようにまとまった入居金も要らず比較的割安な施設となっています。自立生活が困難になった場合は退去を求められます。

◆グループホーム（認知症対応型共同生活介護）◆

認知症の高齢者が、介護スタッフとともに地域の中で自立的な共同生活をするための施設です。定員5～9人の少人数のユニット単位で、家庭的な雰囲気を持って共同生活を営み、個々の能力に応じて食事の支度や掃除・洗濯などの役割を担います。身体の状態が著しく低下した場合や、長期的な入院となった場合など、退去を促されることがあります。

入居にあたっては「**認知症**」の診断が必要となります。

《住まいの選び方》

